

## ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション Hi-Res Audio Recorder

Hi-Res Audio Recorderの使いかたやできることについて説明しています。  
このヘルプでは、ステレオレコードプレーヤーと接続したWindowsの画面を例としてイラストに使用しています。

### Hi-Res Audio Recorderについて

[Hi-Res Audio Recorderとは](#)

[対応機器について](#)

[録音できるオーディオファイルフォーマット](#)

[著作権と商標について](#)

### コンピューターの準備をする

[必要なシステム環境](#)

[Hi-Res Audio Recorderをインストールする](#)

[コンピューターとステレオレコードプレーヤーをつなぐ](#)

### 録音から編集、保存までの流れ

[録音から編集、保存までの流れ](#)

### Hi-Res Audio Recorderの画面説明

[録音モード画面](#)

[編集モード画面](#)

### コンピューターにレコードの曲を録音する

[手順1. ステレオレコードプレーヤーの電源を入れる](#)

[手順2. Hi-Res Audio Recorderを起動する](#)

[手順3. レコードを再生してHi-Res Audio Recorderで録音する](#)

[再録音する](#)

[録音についての注意事項](#)

### 録音した曲を編集する

[マーカーを追加する](#)

[録音した曲のレベルを調整する（ゲイン調整）](#)

録音した曲を書き出す

[録音した曲を書き出す](#)

メニューを使う

[メニューを使う（Windows）](#)

[メニューを使う（Mac）](#)

エラーメッセージ

[エラーメッセージ一覧](#)

困ったときは

[インストールできない。](#)

[接続しても、ステレオレコードプレーヤーをコンピューターが認識しない。](#)

[起動できない。](#)

[録音が始まりません。](#)

[スリープ（スタンバイ状態）から復帰後、コンピューターから音声聞こえない。または、コンピューターがステレオレコードプレーヤーを認識しない。（Windowsのみ）](#)

[コンピューターに録音した曲が途切れる（音飛びする）、波形描画が遅れる。](#)

[録音中、または再生中の音声に電氣的な雑音が入る。](#)

[レベル（ゲイン）を調整するとノイズが発生する。](#)

[ゲイン設定を「自動」にしても音声レベルが変わらない。](#)

[ファイルを保存できない。](#)

[ファイルを保存後、別のレコードを録音する方法がわからない。](#)

[録音済ファイルの再生方法がわからない。](#)

[録音済ファイルの編集方法がわからない。](#)

[録音済ファイルをCDに書き込む方法がわからない。](#)

[録音済ファイルでDSDディスクを作成する方法がわからない。](#)

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## Hi-Res Audio Recorderとは

Hi-Res Audio Recorderは、レコードの曲をハイレゾ対応フォーマットでコンピュータに録音するためのアプリケーションです。

### レコードの曲を録音

ステレオレコードプレーヤーに付属のUSBケーブルで、ステレオレコードプレーヤーとコンピュータを接続し、再生したレコードの曲をハイレゾ対応フォーマット（DSD、PCM）でコンピュータに録音します。  
最大100分まで録音できます。

### 一時ファイルの編集

#### マーカの追加

録音したデータ（一時ファイル）にマーカを追加し、ファイルに書き出す際の範囲を決めることができます。  
マーカは、以下のようなときに追加します。

- 曲が始まるまでの無音部分や、曲と曲の間の無音部分を削除する。
- レコードの片面をすべて録音したあと、1曲ごとのファイルに分ける。

マーカは最大60個まで追加できます。  
追加したマーカは、削除や移動することができます。

#### ゲイン調整

録音したデータ（一時ファイル）のレベル（ゲイン）を調整できます。  
自動的にゲインを調整するように設定したり、+1dBから+6dBまで、1dBずつ手動でゲインを設定したりすることができます。

### 一時ファイルの書き出し

録音したデータ（一時ファイル）をコンピュータに書き出します。  
書き出す前に、アルバム名やアルバムアーティスト、トラックタイトル、トラックアーティストを入力することもできます。

#### ご注意

- Hi-Res Audio Recorderは録音専用アプリケーションのため、コンピュータに保存した録音済ファイルを再生することはできません。ファイルを再生するには、ハイレゾ再生対応機器に転送する、もしくはハイレゾ再生に対応した音楽再生アプリケーションをコンピュータにインストールしてください。
- 一度書き出した録音済ファイルを読み込んで、再度編集することはできません。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 対応機器について

---

Hi-Res Audio Recorderが対応しているステレオレコードプレーヤーは以下のとおりです。

### 対応機器

PS-HX500  
(2022年5月現在)

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 録音できるオーディオファイルフォーマット

Hi-Res Audio Recorderで録音できるオーディオファイルフォーマットは、以下のとおりです。

	DSD (DSF)	PCM (WAV)
特長	広帯域かつ空間表現に優れ、アナログレコードのような滑らかな音質です。 DSD (DSF) フォーマットに対応するコンピューターアプリケーションやハイレゾ再生対応機器でのみ再生することができます。	低音が優れ、躍動感がある音質です。 デジタル音声を記録するのに一般的なフォーマットです。 幅広いコンピューターアプリケーションや、ハイレゾ再生対応機器で再生することができます。
サンプリング 周波数	2.8 MHz、5.6 MHz	44.1 kHz、48 kHz、96 kHz、192 kHz
量子化 ビット 数	1 bit	16 bit、24 bit
ファイル 拡張子	.dsf	.wav

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 著作権と商標について

---

### 著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

### 商標について

- Microsoft および Windows は マイクロソフト グループの企業の商標です。
- Mac、Mac OS、OS XおよびmacOSは米国および他の国と地域で登録されたApple Inc.の商標です。
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- DSDは、ソニー株式会社の登録商標です。

その他、このヘルプで登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 必要なシステム環境

Hi-Res Audio Recorderは以下のシステム環境に対応しています。

### Windows

#### OS :

- Windows 7 (32/64 bit)
- Windows 8 (32/64 bit)
- Windows 8.1 (32/64 bit)
- Windows 10 (32/64 bit)
- Windows 11 (32/64 bit)

(最新のサービスパックを適用していること)

#### ご注意

- Windowsの最新の更新プログラムが適用されていないと、アプリケーションが正常にインストールされない場合があります。Windows Updateを起動し、最新の更新プログラムをインストールしてください。

### Microsoft社のサポートが終了したOSについて

弊社取り扱いのハードウェア/ソフトウェア製品の不具合およびセキュリティ対応等へのサポートも終了します。これらのOS環境で引き続き弊社製品をお使いになると、機器やソフトウェアが正常に動作しない、セキュリティが確保できないなどの不具合が発生するおそれがあります。

Microsoft社から提供されるサポート情報をご確認ください。

#### CPU :

- Intel Core 2プロセッサー 1.6 GHz以上

#### メモリ :

- 1 GB以上

#### 画面解像度 :

- 1,024×768以上

#### オーディオ再生デバイス :

- 必須

### Mac

#### OS :

- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)
- macOS High Sierra (10.13)
- macOS Mojave (10.14)
- macOS Catalina (10.15)

- macOS Big Sur (11)
- macOS Monterey (12)

**画面解像度：**

- 1,024×768以上

**オーディオ再生デバイス：**

- 必須

上記以外のOSは動作保証いたしません。

**ご注意**

- ここに記載している動作環境において、すべてのコンピューターについて動作保証するものではありません。
- 自作のコンピューターおよびOSの個人でのアップグレード、マルチブート環境、仮想マシン環境での動作保証はいたしません。
- すべてのコンピューターに対して、システムサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）などの動作を保証するものではありません。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## Hi-Res Audio Recorderをインストールする

Hi-Res Audio Recorderをコンピュータにインストールします。

### 1 コンピューターにHi-Res Audio Recorderをインストールする。

下記のサポートページから「コンポーネントオーディオ」－「ソフトウェアダウンロード」を選び、「Hi-Res Audio Recorder」のダウンロードページからアプリケーションをダウンロードしてインストールしてください。  
<https://www.sony.jp/support>

### 2 コンピューターにHi-Res Audio Recorderがインストールされていることを確認する場合は、次の手順で操作する。

#### ● Windowsの場合

1. 「コントロール パネル」の「プログラムと機能」、または「設定」の「アプリと機能」をクリックし、「Hi-ResAudioRecorder」が表示されているか確認する。
2. ステレオレコードプレーヤーをコンピュータに接続して電源を入れた状態で、「コントロール パネル」－「ハードウェアとサウンド」－「デバイス マネージャー」をクリック、または「スタート」を右クリックして「デバイス マネージャー」をクリックする。
3. 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー」下に「PS-HX500」が表示されているか確認する。

#### ● Macの場合


1. Finderを起動して「アプリケーション」をクリックする。
2. 「Hi-Res Audio Recorder」が表示されているか確認する。

## Hi-Res Audio Recorderをアンインストールするには

#### ● Windowsの場合：

「コントロール パネル」の「プログラムと機能」、または「設定」の「アプリと機能」をクリックし、「Hi-ResAudioRecorder」をアンインストールする。  
アプリケーションとドライバーが同時にアンインストールされます。

#### ● Macの場合：

 (Hi-Res Audio Recorderアイコン) をゴミ箱に入れ、ゴミ箱を空にする。

### ご注意

- インストールには、コンピュータのドライブに約100 MB空き容量が必要です。不足している場合は、不要なファイルを削除してください。
- インストールは、途中で中断しないでください。
- Hi-Res Audio Recorderが正しくインストールされていない場合、アンインストールして、もう一度インストールし直してください。
- 管理者権限を持たない（Administratorに属さない）アカウントでコンピュータにログオン（サインイン）している場合は、インストールやアンインストールができません。管理者権限を持つアカウントのユーザー名とパスワードを入力するか、管理者権限を持つアカウントでログオン（サインイン）し直してください。

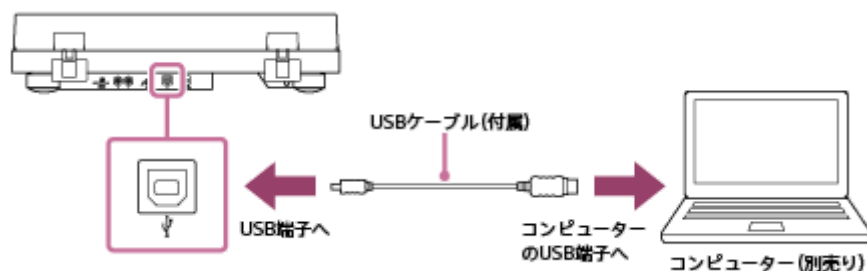


ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## コンピューターとステレオレコードプレーヤーをつなぐ

以下の方法で、コンピューターとステレオレコードプレーヤーを接続します。

- 1 ステレオレコードプレーヤーに付属のUSBケーブルを使って、コンピューターとステレオレコードプレーヤーを接続する。



### ご注意

- ステレオレコードプレーヤーのUSB出力は、録音専用です。レコードを再生する目的には使用できません。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使わないでください。必ず付属のUSBケーブルでコンピューターとステレオレコードプレーヤーを直接接続してください。
- USBコネクタはまっすぐ奥まで差し込んで接続してください。斜めに差し込むと故障の原因になることがあります。
- ステレオレコードプレーヤーとコンピューターを接続して録音するとき以外は、USBケーブルを外しておくことをおすすめします。USBケーブルをつないだまま、ほかのオーディオ機器を接続すると雑音が発生することがあります。
- ステレオレコードプレーヤーとコンピューターをUSBケーブルで接続して録音するときは、本体背面のPHONO/LINEスイッチの位置に関わらずイコライザーによって調整された音声コンピューターのUSB端子へ入力されます。
- ステレオレコードプレーヤーとコンピューターを接続して録音する際、録音中の音声を聞くには、コンピューターの内蔵スピーカーを使うか、ヘッドホンをコンピューターに接続してください。また、コンピューターにステレオレコードプレーヤー以外のUSBオーディオ機器を接続している場合は、コンピューターから取り外してください。

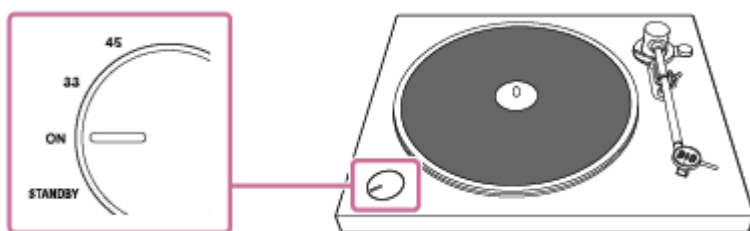
ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 録音から編集、保存までの流れ

レコードの曲をHi-Res Audio Recorderで録音して編集し、録音済ファイルとしてコンピューターに保存するまでの流れについて説明します。

**1 ステレオレコードプレーヤーの電源を入れる。**

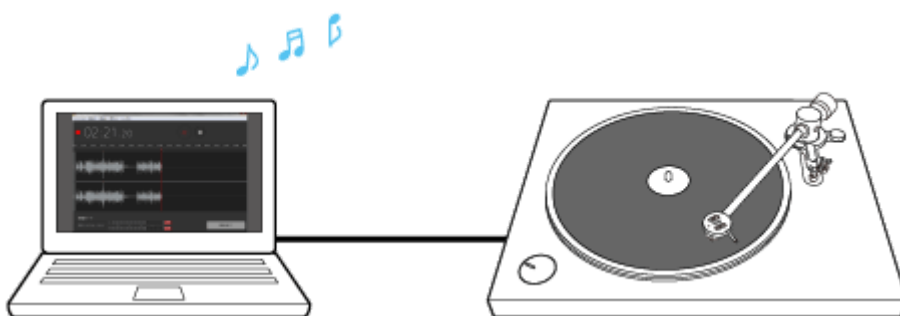
詳しくは、「[手順1. ステレオレコードプレーヤーの電源を入れる](#)」をご覧ください。

**2 コンピューターでHi-Res Audio Recorderを起動する。**

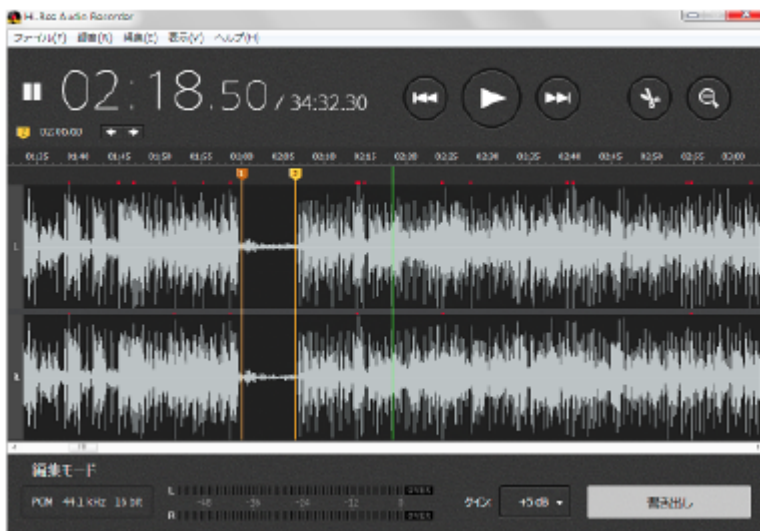
詳しくは、「[手順2. Hi-Res Audio Recorderを起動する](#)」をご覧ください。

**3 レコードを再生してHi-Res Audio Recorderで録音する。**

詳しくは、「[手順3. レコードを再生してHi-Res Audio Recorderで録音する](#)」をご覧ください。

**4 録音した一時ファイルにマーカーを追加したり、レベル（ゲイン）を調整したりして編集する。**

詳しくは、「[マーカーを追加する](#)」または「[録音した曲のレベルを調整する（ゲイン調整）](#)」をご覧ください。



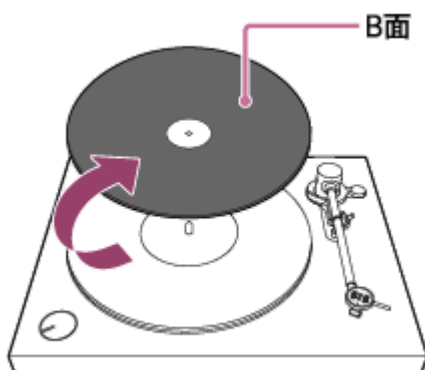
## 5 一時ファイルを書き出して、コンピューターに保存する。

詳しくは、「[録音した曲を書き出す](#)」をご覧ください。




## 6 続けてレコードのB面を録音する場合は、レコードを裏返して録音する。

Hi-Res Audio Recorderのメニューで「ファイル」－「新規作成」をクリックし、手順3～手順5を繰り返します。



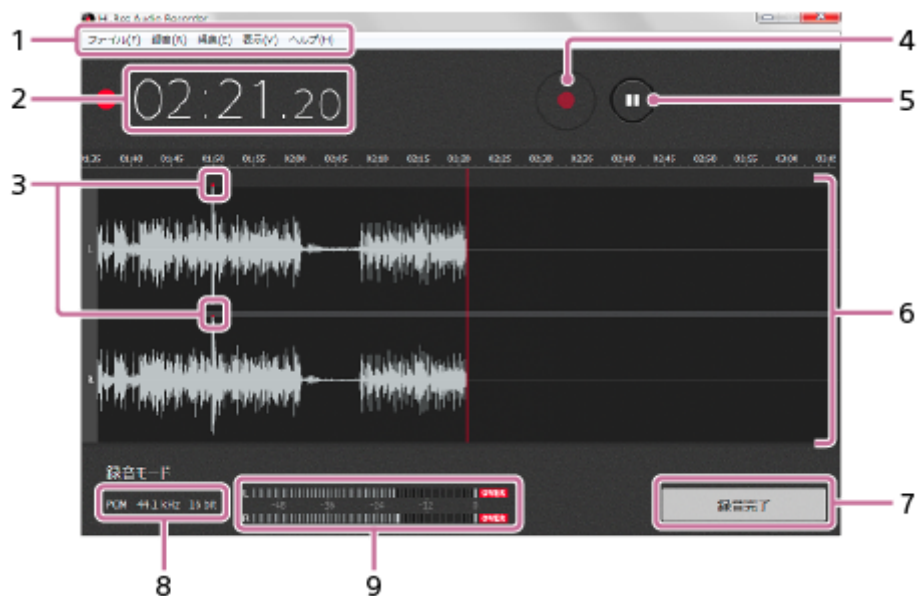
### ヒント

- A面とB面を続けて録音したあとに、編集と書き出しを行うこともできます。その場合は、以下の手順で操作してください。
  - － 上記の手順3でA面の録音を終了後、（録音一時停止）ボタンをクリックする。
  - － レコードをB面に裏返し、手順3～手順5を行う。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 録音モード画面

録音モード画面について説明します。



## 1. メニュー

メニューを選択して様々な操作ができます。詳しくは、「[メニューを使う \(Windows\)](#)」をご覧ください。  
Macの場合は、「[メニューを使う \(Mac\)](#)」をご覧ください。

## 2. 時間表示

録音を開始してからの経過時間を表示します。

## 3. OVERポイント

録音中の曲のレベルが0dBに達する部分がある場合、波形の上部にOVERポイント（赤い点）が表示されます。このとき、同時にレベルメーターの **OVER** が点灯します。

## 4. ●（録音開始）ボタン

録音開始を確認するメッセージが表示されます。

## 5. ||（録音一時停止）ボタン

録音を一時停止します。

## 6. 波形描画エリア

録音中の曲の波形を、中央にある赤いラインの左側に表示します。

## 7. 録音完了ボタン

録音完了時にクリックすると、編集モード画面に切り替わります。

## 8. 設定表示エリア

録音開始前にクリックすると、ファイルフォーマットや一時ファイルの保存先の設定画面を表示します。

## 9. レベルメーター

録音中の曲のレベルに合わせてメーターが動きます。

レベルが0dBに達した場合、**OVER** が点灯します。同時に波形の上部にOVERポイント（赤い点）が表示されます。

レベルのピーク表示および **OVER** は、録音終了時に「録音完了」をクリックするまで消えません。

---

#### 関連項目

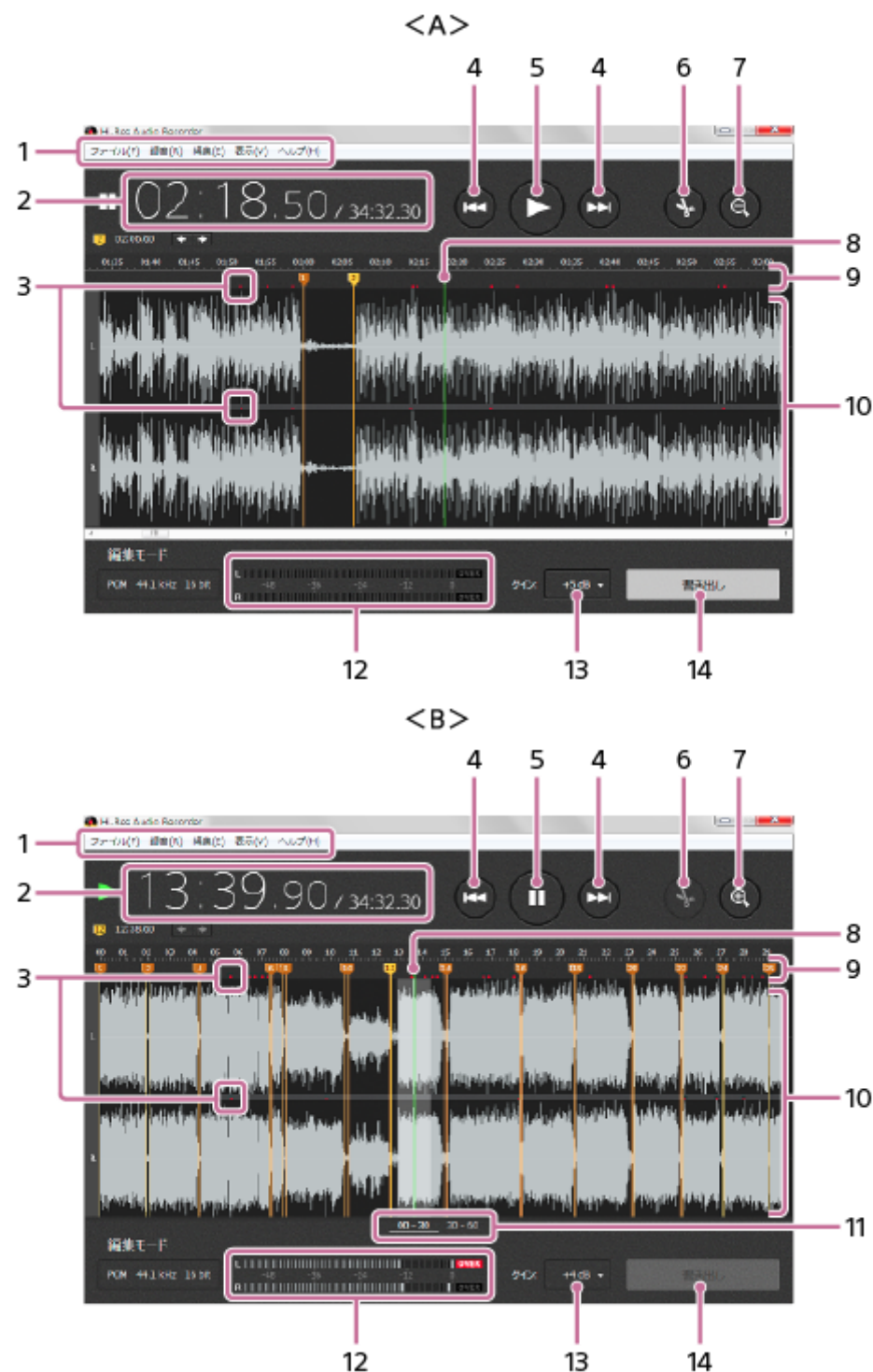
- [編集モード画面](#)
- [手順3. レコードを再生してHi-Res Audio Recorderで録音する](#)

4-589-066-02(6) Copyright 2016 Sony Corporation

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 編集モード画面

編集モード画面について説明します。



A : 波形描画エリアをズームインした場合  
B : 波形描画エリアをズームアウトした場合

### 1. メニュー

メニューを選択して様々な操作ができます。詳しくは、「[メニューを使う \(Windows\)](#)」をご覧ください。  
Macの場合は、「[メニューを使う \(Mac\)](#)」をご覧ください。

## 2. 時間表示

左側に再生位置の時間、右側に一時ファイルの合計時間を表示します。

## 3. OVERポイント

録音した曲のレベルが0dBに達している部分に、赤い点が表示されます。この部分が再生されると、レベルメーターの **OVER** も点灯します。

## 4. ⏮ (前のマーカーへ) ボタン / ⏭ (次のマーカーへ) ボタン

再生を一時停止しているときにクリックすると、再生カーソルの前のマーカーまたは次のマーカーの位置に再生カーソルを移動します。

再生中にクリックすると、再生カーソルの前のマーカーまたは次のマーカーの位置から再生します。

また、前のマーカーの位置から再生して5秒以内に、再度 ⏮ (前のマーカーへ) ボタンをクリックすると、さらに1つ前のマーカーの位置から再生します。

## 5. ▶ (再生開始) ボタン

録音した曲を再生します。

クリックすると、表示が ⏸ (再生一時停止) に切り替わります。再度クリックすると、再生を一時停止します。

## 6. 📍 (マーカーを追加) ボタン

再生を一時停止しているときにクリックすると、再生カーソルの位置にマーカーを追加します。

## 7. 🔍 (ズームイン) ボタン / 🔍 (ズームアウト) ボタン

波形描画エリアの表示を拡大／縮小します。

## 8. 再生カーソル

録音した曲の再生位置を示します。

## 9. マーカー追加エリア

ポインターを合わせてクリックすると、マーカーが追加されます。

## 10. 波形描画エリア

録音した曲の波形を表示します。波形をクリックすると、クリックした位置に再生カーソルが移動します。

また、波形をダブルクリックすると、ダブルクリックした位置から曲を再生します。

## 11. ページ切り替えボタン

録音時間に応じて、「00 - 30」、「30 - 60」、「60 - 90」、「90 - 100」が表示されます。

クリックすると、波形描画エリアのページを切り替えます。

## 12. レベルメーター

録音した曲の再生中、レベルに合わせてメーターが動きます。

レベルが0dBに達している部分が再生されると、 **OVER** が点灯します。

レベルのピーク表示および **OVER** は、一定時間点灯します。

## 13. ゲイン設定ボタン

再生一時停止中に、録音した曲のレベル（ゲイン）を調整することができます。

## 14. 書き出しボタン

編集完了時にクリックすると、書き出し画面に切り替わります。

---

### 関連項目

- [録音モード画面](#)
- [マーカーを追加する](#)
- [録音した曲を書き出す](#)
- [録音した曲のレベルを調整する（ゲイン調整）](#)



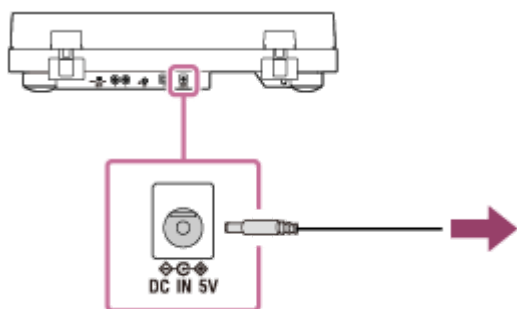
ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 手順1. ステレオレコードプレーヤーの電源を入れる

コンピューターとステレオレコードプレーヤーをUSBケーブルを使って接続している状態で、ステレオレコードプレーヤーの電源を入れます。

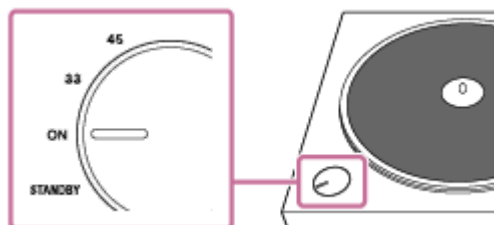
接続方法については、「[コンピューターとステレオレコードプレーヤーをつなぐ](#)」をご覧ください。

- 1 ステレオレコードプレーヤーに付属のACアダプターを使って、ステレオレコードプレーヤーのDC IN端子と電源コンセントを接続する。



- 2 ステレオレコードプレーヤーのSPEED/POWERノブを「ON」に合わせる。

ステレオレコードプレーヤーの電源が入り、USBケーブルで接続されたコンピューターがステレオレコードプレーヤーを認識できるようになります。



### ご注意

- ノイズの影響を避けるため、ステレオレコードプレーヤーはACアダプターの本体（ACプラグ側）からできるだけ離して設置してください。

## 手順2. Hi-Res Audio Recorderを起動する

コンピュータでHi-Res Audio Recorderを起動し、録音するファイルのフォーマットや一時ファイルの保存先などを設定します。

### 1 Hi-Res Audio Recorderを起動する。

Windowsの場合：[すべてのプログラム]（[すべてのアプリ]）から[Hi-Res Audio Recorder]をクリックします。

Macの場合：Finderを起動して、[アプリケーション]下の[Hi-Res Audio Recorder]をダブルクリックします。

### 2 画面上部にあるメニューで[ファイル] - [設定]をクリックする。

Macの場合は、メニューバーから[Hi-Res Audio Recorder] - [設定]をクリックします。

設定画面が表示されます。

設定画面は、録音モード画面下の設定表示エリアをクリックしても表示することができます。詳しくは、「[録音モード画面](#)」をご覧ください。

### 3 「フォーマット」タブで[PCM (.wav)]または[DSD (.dsf)]を選択し、サンプリング周波数や量子化ビット数を設定する。

初期設定では、「PCM (.wav)」、「44.1 kHz」、「16 bit」が設定されています。

### 4 「一時ファイル保存先」タブで、一時ファイルの保存先を設定する。

初期設定では、以下の保存先が設定されています。

Windowsの場合：C:\¥Users¥（ユーザー名）¥AppData¥Local¥Sony¥Hi-Res Audio Recorder¥temp

Macの場合：/Users/（ユーザー名）/Library/Caches/jp.co.sony.Hi-Res-Audio-Recorder/

録音可能な時間が100分未満の場合、保存先の下に録音可能な時間が表示されます。

ドライブに一時ファイルを保存するための十分な空き容量がない場合は、保存先を他のドライブに変更してください。

保存先を変更後に[デフォルトに戻す]をクリックすると、保存先が初期設定に戻ります。

### 5 [OK]をクリックする。

## Hi-Res Audio Recorderを終了するには

#### ● Windowsの場合：

Hi-Res Audio Recorderのメニューで[ファイル] - [終了]をクリックする。または、画面右上の[×]をクリックする。

#### ● Macの場合：

メニューバーから[Hi-Res Audio Recorder] - [終了]をクリックする。または、画面左上の[×]をクリックする。

### ご注意

- 一時ファイル保存先を初期設定から変更すると、波形描画が遅れたり、音飛びしたりする場合があります。保存先を、内蔵ハードディスクドライブなど、高速でアクセスできるドライブ内のフォルダーに変更してください。

- Hi-Res Audio Recorderを起動中は、コンピューターをスリープ（スタンバイ状態）に移行させないでください。移行させるとデータが失われたり、正常に復帰できなかったりする場合があります。なお、Hi-Res Audio Recorderを起動中は、コンピューターは自動的にスリープ（スタンバイ状態）に移行しません。

## ヒント

- Hi-Res Audio Recorderのアップデートが可能な場合は、起動時にメッセージが表示されます。新しいバージョンのHi-Res Audio Recorderをダウンロードするには、[ダウンロード] をクリックしてください。Hi-Res Audio Recorderのアップデート方法について詳しくは、「[メニューを使う（Windows）](#)」をご覧ください。Macの場合は、「[メニューを使う（Mac）](#)」をご覧ください。

---

## 関連項目

- [録音できるオーディオファイルフォーマット](#)

### 手順3. レコードを再生してHi-Res Audio Recorderで録音する

録音したいレコードをステレオレコードプレーヤーで再生し、Hi-Res Audio Recorderで録音します。

#### 1 Hi-Res Audio Recorderの録音モード画面で、●（録音開始）ボタンをクリックする。

「レコードプレーヤーを再生して、「録音開始」ボタンをクリックしてください。」というメッセージが表示されます。

#### 2 ステレオレコードプレーヤーでレコードを再生する。



レコードの再生方法について詳しくは、ステレオレコードプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。レコードを再生すると、コンピューターのスピーカーから音声が流れます。再生音量はコンピューター側で調節できます。

#### 3 録音を開始したいタイミングで、[録音開始] をクリックする。

録音が始まり、画面上に録音中の曲の波形が表示されます。  
録音を一時停止したい場合は、⏸（録音一時停止）ボタンをクリックします。  
再度●（録音開始）ボタンをクリックすると、録音が再開されます。

#### 4 録音が終了したら、[録音完了] をクリックする。

編集モード画面に切り替わります。

#### 5 録音した曲の編集と書き出しを行う。

編集、書き出しについて詳しくは、「[マーカーを追加する](#)」、「[録音した曲のレベルを調整する（ゲイン調整）](#)」および「[録音した曲を書き出す](#)」をご覧ください。

### A面に続いてB面を録音するには

A面を書き出したあとにB面を録音すると、ファイルサイズが小さくなるため、書き出しが早くなります。  
A面の書き出しが終了したら、レコードをB面に裏返して、画面上部のメニューで[ファイル] - [新規作成] をクリックし、上記の手順1～手順5を繰り返してください。

### A面とB面を続けて録音して編集・書き出しするには

A面とB面を続けて録音すると、書き出し時にアルバム名などを一括で入力することができるため、便利です。  
上記の手順3までを行いA面の録音が終了したら、[録音完了] をクリックせずに⏸（録音一時停止）ボタンをクリックします。以降、レコードをB面に裏返して再生し、録音を再開したいタイミングで●（録音開始）ボタンをクリックして、手順4、5を行ってください。

## ご注意

- コンピューターの最大録音時間が0分の場合、録音開始時に「録音開始」をクリックできません。その場合は、録音開始前に一時ファイルの保存先を変更してください。詳しくは、「[手順2. Hi-Res Audio Recorderを起動する](#)」をご覧ください。  
コンピューターに十分な空き容量のあるドライブがない場合は、不要なアプリケーションをアンインストールするなどして容量を増やすか、パーティションサイズを変更してください。
- (録音開始) ボタンをクリックしないと、レコードを再生していてもコンピューターから音声は流れません。
- 録音を一時停止したあと、(録音開始) ボタンをクリックして録音を再開する場合、「レコードプレーヤーを再生して、「録音開始」ボタンをクリックしてください。」のメッセージは表示されません。(録音開始) ボタンをクリックしたタイミングで、録音が始まります。
- 録音中や録音一時停止中に、USBケーブルを接続し直したり、ステレオレコードプレーヤーの電源を入れ直したりすると、コンピューターがステレオレコードプレーヤーを認識しなくなることがあります。その場合は、Hi-Res Audio Recorderを再起動してください。
- 録音中にコンピューターから再生される音声は、ハイレゾの音声ではありません。  
録音した曲の一時ファイルを、コンピューターで再生可能なフォーマットに変換して再生されているものです。
- ステレオレコードプレーヤーとコンピューターを接続して録音する際、録音中の音声を聞くには、コンピューターの内蔵スピーカーを使うか、ヘッドホンにコンピューターに接続してください。また、コンピューターにステレオレコードプレーヤー以外のUSBオーディオ機器を接続している場合は、コンピューターから取り外してください。
- Hi-Res Audio Recorderを起動後、下記のメッセージが表示された場合は[OK] をクリックしてください。(Macの場合)



[許可しない] をクリックすると、録音できなくなります。  
その場合は、Appleメニューの[システム環境設定] - [セキュリティとプライバシー] - [プライバシー] - [マイク] をクリックし、右側のアプリリストの「Hi-Res Audio Recorder」にチェックを入れて、マイクへのアクセスを許可してください。

## ヒント

- (録音一時停止) ボタンを押して録音を一時停止しても、レコードの再生は続きます。レコードの再生を停止したい場合は、ステレオレコードプレーヤー側で再生を停止してください。  
詳しくは、ステレオレコードプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 手順2と手順3の順番を逆に、録音を開始してからレコードを再生することもできます。
- 曲の途中から録音する場合は、録音を開始したい部分より少し前から、長めに録音することをおすすめします。録音後、編集モード画面で不要な範囲を指定して、ファイルを書き出すときに削除することができます。  
詳しくは、「[マーカーを追加する](#)」および「[録音した曲を書き出す](#)」をご覧ください。


## 関連項目

- [録音モード画面](#)
- [編集モード画面](#)
- [再録音する](#)
- [録音についての注意事項](#)



## 再録音する

レコードを録音中にノイズが多かったり針飛びが起こったりして、録音をやり直したいときは、次の手順で再録音してください。

- 1 Hi-Res Audio Recorderの録音モード画面で、（録音一時停止）ボタンをクリックする。**  
録音が一時停止します。
- 2 ステレオレコードプレーヤー側で、レコードの再生を停止する。**  
レコードの再生を停止する方法については、ステレオレコードプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 3 画面上部にあるメニューで【ファイル】 - 【新規作成】をクリックする。**  
「新たに録音を行いますか？保存されていない録音データはすべて破棄されます。」というメッセージが表示されます。
- 4 【OK】をクリックする。**  
一時ファイルがリセットされて、録音モード画面の初期状態に戻ります。  
以降、「[手順3. レコードを再生してHi-Res Audio Recorderで録音する](#)」の手順に従って再録音してください。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 録音についての注意事項

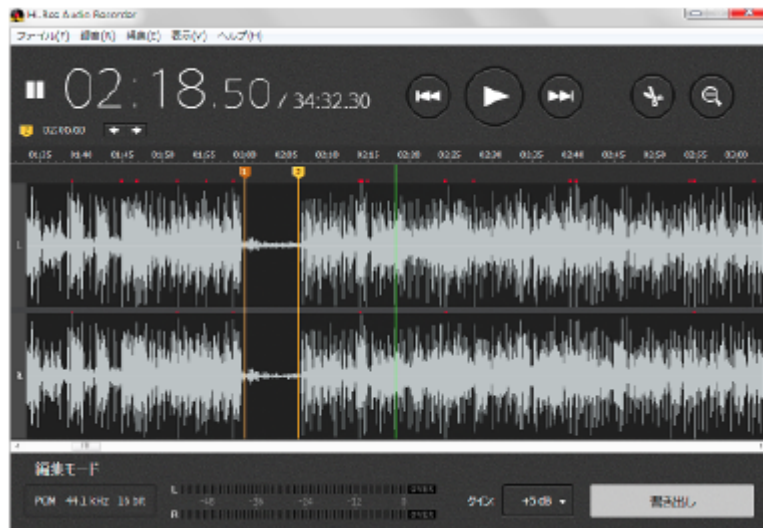
- Hi-Res Audio Recorderの最大録音時間は100分です。録音時間が100分を超えると、自動的に録音を停止します。また、コンピューターのドライブの空き容量が100分未満になると、録音開始時に録音可能な時間が表示されます。
- コンピューターのドライブの最大録音時間が0分の場合、録音開始時に「録音開始」をクリックできません。その場合は、録音開始前に一時ファイルの保存先を変更してください。詳しくは、「[手順2. Hi-Res Audio Recorderを起動する](#)」をご覧ください。  
コンピューターに十分な空き容量のあるドライブがない場合は、不要なアプリケーションをアンインストールするなどして容量を増やすか、パーティションサイズを変更してください。  
録音に必要な容量の目安は以下のとおりです。

フォーマット	サンプリング周波数（量子化ビット数）	録音1分あたりに必要な容量	録音30分あたりに必要な容量
PCM (WAV)	44.1 kHz (16 bit/24 bit)	32 MB	950 MB
	48 kHz (16 bit/24 bit)	35 MB	1 GB
	96 kHz (16 bit/24 bit)	70 MB	2.1 GB
	192 kHz (16 bit/24 bit)	140 MB	4.1 GB
DSD (DSF)	2.8 MHz	53 MB	1.6 GB
	5.6 MHz	106 MB	3.2 GB

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## マーカーを追加する

編集モード画面で、一時ファイルにマーカーを追加することができます。  
曲と曲の間などにマーカーを追加すると、書き出す際に曲ごとのファイルに分けることができます。



- 1 Hi-Res Audio Recorderの編集モード画面で、▶ (再生開始) ボタンをクリックする。  
録音した曲が再生されます。
- 2 曲と曲の間など、マーカーを追加したいタイミングで⏸ (再生一時停止) ボタンをクリックする。
- 3 ⚡ (マーカーを追加) ボタンをクリックする。  
再生カーソルのある位置にマーカーが追加されます。  
以下のいずれかの操作でもマーカーを追加できます。
  - 画面上部にあるメニューから [編集] - [マーカーを追加] をクリックする。
  - マーカー追加エリアで右クリックして表示されるメニューから、[マーカーを追加] を選択する。

## マーカーの位置を調整するには

マーカーの数字部分 (2) をクリック、または◀ (前のマーカーへ) ボタン / ▶ (次のマーカーへ) ボタンをクリックしてマーカーを選択し、位置を調整します。

以下のいずれかの手順で、選択したマーカーの位置を調整できます。



- 画面左側にある矢印ボタン (◀ / ▶) をクリックする。
- 左右にドラッグする。
- キーボードの← / →キーを押す。

## マーカーを削除するには

以下のいずれかの手順で削除できます。

- 削除したいマーカーを選択し、画面上部にあるメニューから[編集] - [マーカーを削除] をクリックする。
- 削除したいマーカーを選択した状態で右クリックし、表示されたメニューから[マーカーを削除] を選択する。
- 削除したいマーカーを選択し、ダブルクリックする。
- 削除したいマーカーを選択し、キーボードのDeleteキーを押す。
- 追加したマーカーをすべて削除したい場合は、画面上部にあるメニューから[編集] - [すべてのマーカーを削除] をクリックする。または、マーカー追加エリアで右クリックして表示されるメニューから、[すべてのマーカーを削除] を選択する。

### ご注意

- 録音した曲の開始位置のマーカー（）と終了位置のマーカー（）は自動的に追加されます。これらのマーカーを移動および削除することはできません。
- 編集モード画面でコンピューターから再生される音声は、ハイレゾの音声ではありません。録音した曲の一時ファイルを、コンピューターで再生可能なフォーマットに変換して再生されているものです。

### ヒント

- マーカーは最大60個まで追加できます。
- 曲間の無音部分にマーカーを追加し、その部分を書き出さないように設定することもできます。書き出しの方法について詳しくは、「[録音した曲を書き出す](#)」をご覧ください。

---

### 関連項目

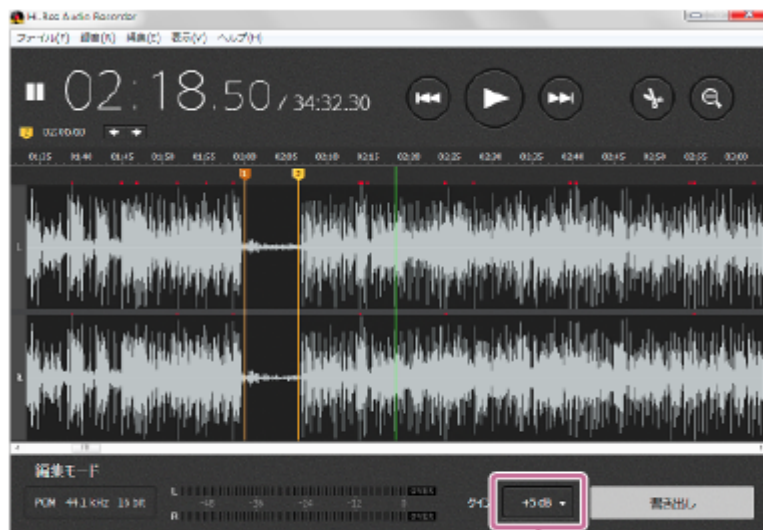
- [編集モード画面](#)

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 録音した曲のレベルを調整する（ゲイン調整）

編集モード画面で、一時ファイルのレベル（ゲイン）を調整することができます。

自動的にゲインを調整するように設定したり、+1dBから+6dBまで、1dBずつ手動でゲインを設定したりすることができます。



①

① Hi-Res Audio Recorderの編集モード画面で、再生一時停止中にゲイン設定ボタン（①）をクリックする。

② +1dBから+6dBまでの数値が表示されるので、お好みに合わせて選択する。

一時ファイルのゲインは、調整する前は「0dB」（調整なし）になっています。  
「自動」を選択すると、0dBを超えない範囲で、できるだけ大きなレベルに自動的に設定されます。

③ ゲインを設定したら一時ファイルを再生し、曲の波形、レベルメーターおよび音声を確認する。

曲のレベルに合わせてレベルメーターが動きます。  
曲のレベルが0dBに達している部分にOVERポイントが表示され、同時にレベルメーターの **OVER** が点灯します。  
レベルのピーク表示および **OVER** は一定時間点灯後、消灯します。

**ご注意**

- 録音後、すでに一時ファイルのレベルの最大値が-1dBを超えている場合は、手順2で「自動」を選択してもゲインは上がりません。
- 手順2で「自動」を選択しても、自動で設定されるゲインの最大値は+6dBまでです。
- ファイルを書き出す際のフォーマットをDSDに設定している場合、ゲインを上げるとファイルの書き出しに時間がかかります。
- レコードによっては、ゲインを調整しても曲のレベルの最大値が-1dBに達しないものもあります。

## 関連項目

- [編集モード画面](#)

4-589-066-02(6) Copyright 2016 Sony Corporation

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

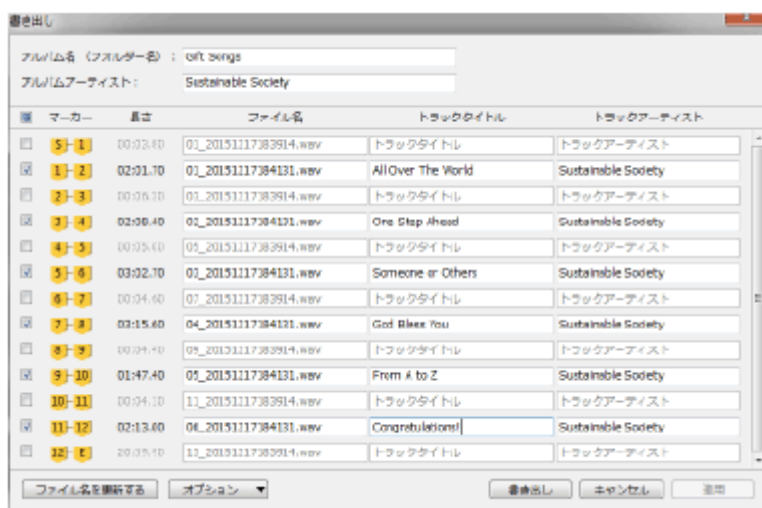
## 録音した曲を書き出す

編集モード画面で編集した一時ファイルを書き出し、録音済ファイルとしてコンピューターに保存します。  
録音した曲の無音部分を書き出したい場合は、該当するマーカーのチェックボックスからチェックを外す必要があります。

マーカーを追加する方法について詳しくは、「[マーカーを追加する](#)」をご覧ください。

### 1 Hi-Res Audio Recorderの編集モード画面でマーカーを追加後、【書き出し】をクリックする。

書き出し画面が表示され、追加したマーカーとファイル名の一覧が表示されます。  
ファイル名は、初期設定では「トラック番号\_年月日時刻.拡張子」（例：01\_20160401012345.wav）で表示されます。



### 2 追加したマーカーで、書き出したい部分がある場合は、該当するマーカーのチェックボックスからチェックを外す。

### 3 【書き出し】をクリックする。

保存先を選択する画面が表示されます。

### 4 保存先を選択して、【OK】をクリックする。

保存先にフォルダーが作成され、フォルダー内に録音済ファイルが保存されます。  
書き出し画面でアルバム名を空欄にした場合、フォルダー名は「年月日時刻」（例：20160401012345）になります。

ファイルが保存されると、編集モード画面に戻ります。

新しく録音を開始したい場合は、画面上部にあるメニューで【ファイル】－【新規作成】をクリックすると、録音モード画面に切り替わります。

#### ご注意

- ファイルフォーマットは、書き出し時に設定することができません。録音開始前に設定する必要があります。設定方法について詳しくは、「[手順2. Hi-Res Audio Recorderを起動する](#)」をご覧ください。

## ヒント

- 書き出すマーカーを指定したあとに、ファイル名にあるトラック番号と日付を更新することができます。〔ファイル名を更新する〕をクリックし、メッセージが表示されたら〔OK〕をクリックすると、チェックが付いたマーカーのファイル名のみトラック番号と日付が再設定されます。表示されたメッセージの「トラック番号の初期値」で、トラック番号の開始番号を変更することもできます。
- トラックタイトルを入力して、〔オプション〕－〔トラックタイトルをファイル名に使用する〕をクリックすると、ファイル名をトラックタイトルに置き換えることができます。トラック番号と拡張子は変更されません。
- アルバムアーティスト名を入力して、〔オプション〕－〔アルバムアーティストをトラックアーティストにコピーする〕をクリックすると、すべてのトラックの「トラックアーティスト」欄にアルバムアーティスト名が一括でコピーされます。
- トラックタイトルやアーティスト名を入力したあとに〔適用〕をクリックすると、設定を一時的に保存します。一時ファイルを編集し直したいときなど、書き出し画面で〔キャンセル〕をクリックして編集モード画面に戻っても、次に書き出しするときに、保存したトラックタイトルやアーティスト名を使用できます。

---

## 関連項目

- [編集モード画面](#)

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## メニューを使う (Windows)

画面上部にあるメニューで選択できる項目について説明します。



### ご注意

- 表示している画面によっては、一部の項目が選択できない場合があります。

## ファイル

- 新規作成：  
一時ファイルをリセットし、録音モード画面を初期状態に戻します。  
初期設定から変更されたファイルフォーマットはリセットされません。
- 設定：  
ファイルフォーマットおよび一時ファイル保存先の設定画面を表示します。
- 書き出し：  
書き出し画面を表示します。
- 終了：  
Hi-Res Audio Recorderを終了します。

## 録音

- 録音開始：  
録音開始を確認するメッセージが表示されます。
- 録音一時停止：  
録音を一時停止します。
- 録音完了：  
録音完了時に選択すると、編集モード画面に切り替わります。

## 編集

編集モード画面を表示しているときに、以下の項目を選択できます。

- 再生開始：  
一時ファイルの再生を開始します。
- 再生一時停止：

一時ファイルの再生を一時停止します。

- マーカーを追加：  
一時ファイルの再生の一時停止中に、再生カーソルの位置にマーカーを追加します。
- 次のマーカーへ：  
次のマーカーに再生カーソルを移動します。
- 前のマーカーへ：  
前のマーカーに再生カーソルを移動します。
- マーカーを削除：  
選択しているマーカーを削除します。
- すべてのマーカーを削除：  
追加したマーカーをすべて削除します。
- ゲイン：  
録音したデータ（一時ファイル）のレベルを設定します。

## 表示

編集モード画面を表示しているときに、以下の項目を選択できます。

- ズームイン：  
一時ファイルの波形を拡大表示します。
- ズームアウト：  
一時ファイルの波形を縮小表示します。
- 次のページへ：  
一時ファイルが複数ページにわたっている場合、次のページを表示します。
- 前のページへ：  
一時ファイルが複数ページにわたっている場合、前のページを表示します。

## ヘルプ

- ヘルプ：  
ウェブブラウザが起動し、Hi-Res Audio Recorderのヘルプを表示します。
- アップデートの確認：  
Hi-Res Audio Recorderのアップデート情報を表示します。  
アップデートが可能な場合は、メッセージが表示されるので、[ダウンロード] をクリックしてください。  
以降、以下の手順に従ってアップデートしてください。
  - Hi-Res Audio Recorderの新しいインストーラーをダウンロードして、コンピューターに保存する。
  - インストーラーのダウンロードが完全に終了したら、Hi-Res Audio Recorderを終了する。
  - 保存したインストーラーをダブルクリックする。  
新しいバージョンのHi-Res Audio Recorderのインストールが始まります。  
インストールが完了すると、Hi-Res Audio Recorderが新しいバージョンに置き換わります。
- バージョン表示：  
Hi-Res Audio Recorderのバージョンとコピーライト年号を表示します。



ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## メニューを使う (Mac)

メニューバーのメニューから選択できる項目について説明します。



### ご注意

- 表示している画面によっては、一部の項目が選択できない場合があります。

## Hi-Res Audio Recorder

- バージョン表示：  
Hi-Res Audio Recorderのバージョンとコピーライト年号を表示します。
- 設定：  
ファイルフォーマットおよび一時ファイル保存先の設定画面を表示します。
- 終了：  
Hi-Res Audio Recorderを終了します。

## ファイル

- 新規作成：  
一時ファイルをリセットし、録音モード画面を初期状態に戻します。  
初期設定から変更されたファイルフォーマットはリセットされません。
- 書き出し：  
書き出し画面を表示します。

## 録音

- 録音開始：  
録音開始を確認するメッセージが表示されます。
- 録音一時停止：  
録音を一時停止します。
- 録音完了：  
録音完了時に選択すると、編集モード画面に切り替わります。

## 編集

編集モード画面を表示しているときに、以下の項目を選択できます。

- 再生開始：  
一時ファイルの再生を開始します。
- 再生一時停止：  
一時ファイルの再生を一時停止します。
- マーカーを追加：  
一時ファイルの再生の一時停止中に、再生カーソルの位置にマーカーを追加します。
- 次のマーカーへ：  
次のマーカーに再生カーソルを移動します。
- 前のマーカーへ：  
前のマーカーに再生カーソルを移動します。
- マーカーを削除：  
選択しているマーカーを削除します。
- すべてのマーカーを削除：  
追加したマーカーをすべて削除します。
- ゲイン：  
録音したデータ（一時ファイル）のレベルを設定します。

## 表示

編集モード画面を表示しているときに、以下の項目を選択できます。

- ズームイン：  
一時ファイルの波形を拡大表示します。
- ズームアウト：  
一時ファイルの波形を縮小表示します。
- 次のページへ：  
一時ファイルが複数ページにわたっている場合、次のページを表示します。
- 前のページへ：  
一時ファイルが複数ページにわたっている場合、前のページを表示します。

## ヘルプ

- ヘルプ：  
ウェブブラウザが起動し、Hi-Res Audio Recorderのヘルプを表示します。
- アップデートの確認：  
Hi-Res Audio Recorderのアップデート情報を表示します。  
アップデートが可能な場合は、メッセージが表示されるので、[ダウンロード] をクリックしてください。  
以降、以下の手順に従ってアップデートしてください。
  - Hi-Res Audio Recorderの新しいインストーラーをダウンロードして、コンピューターに保存する。
  - インストーラーのダウンロードが完全に終了したら、Hi-Res Audio Recorderを終了する。
  - 保存したインストーラーをダブルクリックする。  
新しいバージョンのHi-Res Audio Recorderのインストールが始まります。  
インストールが完了すると、Hi-Res Audio Recorderが新しいバージョンに置き換わります。



ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## エラーメッセージ一覧

### 接続

**接続機器が見つかりません。機器の電源または接続を見直してください。**

- ステレオレコードプレーヤーの電源が入っているか、確認してください。
- ステレオレコードプレーヤーとコンピューターが正しく接続されているか、確認してください。接続方法については、「[コンピューターとステレオレコードプレーヤーをつなぐ](#)」をご覧ください。
- Hi-Res Audio Recorderを起動中にユーザーの切り替えを行うと、正常に動作しません。Hi-Res Audio Recorderを一度終了してから、ユーザーを切り替えてください。

**機器との接続が切断されました。機器の電源または接続を見直してください。**

- レコードの録音中または録音一時停止中に、ステレオレコードプレーヤーの電源が切れました。ステレオレコードプレーヤーの電源を入れ直してください。
- レコードの録音中または録音一時停止中に、ステレオレコードプレーヤーとコンピューターの接続が途切れました。USBケーブルまたはACアダプターが外れていないか、確認してください。

### 録音

**録音可能時間の上限に達しましたので、録音を停止しました。**

Hi-Res Audio Recorderの最大録音時間は100分です。録音時間が100分を超えると、自動的に録音を停止します。

### 編集

**これ以上マーカーを追加できません。不要なマーカーを削除してからもう一度行ってください。**

追加できるマーカーは、最大60個です。不要なマーカーを削除してください。

### 一時ファイルの保存先

**そのフォルダーは一時ファイルの保存先に指定できません。他のフォルダーを選んでください。**

選択しているフォルダーがネットワークドライブやCDドライブ上などの場合、一時ファイルの保存先として使用できません。別のフォルダーを選択してください。

**一時ファイル保存先に指定したフォルダーが使用できません。一時ファイル保存先を変更してください。**

以下の場合は、一時ファイルの保存先に指定したフォルダーが使用できません。一時ファイルの保存先を変更してください。

- 一時ファイル保存先のドライブが、コンピューターから取り外された、または電源が切れた場合
- 上記の状態で、● (録音開始) ボタンをクリックした場合
- 一時ファイル保存先のドライブのアクセス速度が遅く、録音中の波形描画や音声出力の遅延量がメモリ許容量を超えた場合

**デフォルト設定以外のドライブでは、アクセス速度が低下して、波形描画が遅れたり、音飛びが発生する可能性があります。一時ファイル保存先を変更しますか？**

一時ファイルの保存先を、初期設定の保存先から変更すると、波形描画が遅れたり、音飛びが発生したりする可能性があります。

保存先を変更する場合は「はい」を、変更しない場合は「いいえ」をクリックしてください。

## 書き出し

**ファイル名に使用できない文字が含まれています。ファイル名を変更してください。**

ファイル名に使用できない文字が含まれているため、一時ファイルの書き出しができません。  
ファイル名を変更してください。

**アルバム名に使用できない文字が含まれています。アルバム名を変更してください。**

アルバム名に使用できない文字が含まれているため、一時ファイルの書き出しができません。  
アルバム名を変更してください。

**ファイル名が指定されていません。ファイル名を入力してください。**

ファイル名が空欄になっているため、一時ファイルの書き出しができません。  
ファイル名を入力してください。

**ファイル名が重複しています。ファイル名を変更してください。**

ファイル名が重複しているため、一時ファイルの書き出しができません。  
ファイル名を変更してください。

## 保存

**保存先に同じ名前のファイルがあります。上書きしますか？**

保存先のフォルダーに、同名の録音済ファイルが存在します。  
上書きする場合は [OK] をクリックしてください。  
上書きしない場合は、別のファイル名に変更してください。

**保存先にファイル名と同じ名前のフォルダーがあります。ファイル名を変更してください。**

ファイル名と、保存先にあるフォルダー名が重複しています。  
ファイル名を変更してください。

**ファイルのパスが長すぎます。ファイル名あるいは保存先を変更してください。**

ファイルのパスが最大文字数を超過しています。  
ファイル名または保存先を変更してください。

**保存先にフォルダー名と同じ名前のファイルがあります。アルバム名（フォルダー名）を変更してください。**

録音済ファイルのアルバム名（フォルダー名）と、保存先にあるファイルの名前が重複しています。  
アルバム名（フォルダー名）を変更してください。

**保存先に十分な空き領域がありません。不要なファイルを削除するか、保存先を変更してください。**

録音済ファイルの保存先の容量が不足しています。  
不要なファイルを削除するなどして容量を増やすか、保存先を変更してください。

**保存できませんでした。詳細は、メニューの「ヘルプ」をクリックして、ヘルプガイドをご覧ください。**

ファイルの保存に失敗しました。詳しくは、「[ファイルを保存できない。](#)」をご覧ください。

## ネットワーク

**バージョン情報を取得できませんでした。コンピュータのネットワーク接続を確認してください。**

Hi-Res Audio Recorderのバージョン情報を取得できませんでした。コンピューターがインターネットに接続されているか確認してください。

**新しいバージョンをダウンロードできませんでした。コンピュータのネットワーク接続を確認してください。**

新しいバージョンのHi-Res Audio Recorderをダウンロードできませんでした。コンピューターがインターネットに接続されているか確認してください。

## その他

**オーディオ再生デバイスに問題があります。オーディオ再生デバイスがインストールされていないか、他のアプリで使用されている可能性があります。**

- コンピューターにオーディオ再生用のアプリケーションをインストールしてください。
- ほかのアプリケーションでオーディオ再生デバイスを使用している場合は、ほかのアプリケーションを終了してください。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## インストールできない。

- サポート対象外のOSを搭載したコンピューターを使っていないか、確認してください。サポート対象のOSを搭載したコンピューターをお使いください。詳しくは、「[必要なシステム環境](#)」をご覧ください。
- ドライブの空き容量が不足していないか確認してください。インストールには約100 MBの空き容量が必要です。不足している場合は、不要なファイルを削除してください。
- 管理者権限を持たない（Administratorに属さない）アカウントでコンピューターにログオン（サインイン）している場合は、インストールやアンインストールができません。管理者権限を持つアカウントのユーザー名とパスワードを入力するか、管理者権限を持つアカウントでログオン（サインイン）し直してください。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 接続しても、ステレオレコードプレーヤーをコンピューターが認識しない。

- USBケーブルを抜き、コンピューターを再起動してください。再起動後、コンピューターとステレオレコードプレーヤーをUSBケーブルで接続してください。  
接続方法については、「[コンピューターとステレオレコードプレーヤーをつなぐ](#)」をご覧ください。
- USBデバイスドライバーが正しくインストールされているか確認してください。（Windowsの場合）  
ステレオレコードプレーヤーをコンピューターに初めてUSBケーブルで接続したときや、以前に接続したUSB端子と異なる端子に接続したときに、USBデバイスドライバーが再度、自動的にインストールされる場合があります。  
ステレオレコードプレーヤーをコンピューターに接続して電源を入れた状態で、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイス マネージャー] をクリック、または [スタート] を右クリックして [デバイス マネージャー] をクリックします。  
表示される画面で、[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー] 下に「PS-HX500」が表示されていれば、USBデバイスドライバーが正しくインストールされています。
- ステレオレコードプレーヤーが「システム情報」に表示されることを、以下の手順に従って確認してください。（Macの場合）
  - ステレオレコードプレーヤーをコンピューターに接続して電源を入れる。
  - Appleメニューの [このMacについて] をクリックする。
  - [概要] - [システムレポート] をクリックする。
  - [ハードウェア] 下の [USB] をクリックし、「PS-HX500」が表示されているか確認する。

### ご注意

- Windowsの最新の更新プログラムが適用されていないと、アプリケーションが正常にインストールされない場合があります。  
Windows Updateを起動し、最新の更新プログラムをインストールしてください。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 起動できない。

- コンピューターが正常に動作していない可能性があります。別のアプリケーションを立ち上げてコンピューターの動作を確認してください。
- コンピューターが正常に動作していない可能性があります。コンピューターを再起動してください。
- Hi-Res Audio Recorderが正しくインストールされているか確認してください。（Windowsの場合）
  - [コントロール パネル] の [プログラムと機能]、または [設定] の [アプリと機能] をクリックし、「Hi-ResAudioRecorder」が表示されているか確認する。
  - ステレオレコードプレーヤーをコンピューターに接続して電源を入れた状態で、[コントロール パネル] – [ハードウェアとサウンド] – [デバイス マネージャー] をクリック、または [スタート] を右クリックして [デバイス マネージャー] をクリックし、表示される画面で [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー] 下に「PS-HX500」が表示されているか確認する。
- Hi-Res Audio Recorderが正しくインストールされているか確認してください。（Macの場合）
  - Finderを起動し、[アプリケーション] 下に「Hi-Res Audio Recorder」が表示されているか確認する。
- Hi-Res Audio Recorderが正しくインストールされていない場合、アンインストールして、もう一度インストールし直してください。詳しくは、「[Hi-Res Audio Recorderをインストールする](#)」をご覧ください。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 録音が始まらない。

- ステレオレコードプレーヤーとコンピューターがUSBケーブルで接続されているか確認してください。
- ステレオレコードプレーヤーの電源が入っているか確認してください。
- Hi-Res Audio Recorderが正しくインストールされているか確認してください。（Windowsの場合）
  - － [コントロール パネル] の [プログラムと機能]、または [設定] の [アプリと機能] をクリックし、「Hi-ResAudioRecorder」が表示されているか確認する。
  - － ステレオレコードプレーヤーをコンピューターに接続して電源を入れた状態で、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイス マネージャー] をクリック、または [スタート] を右クリックして [デバイス マネージャー] をクリックし、表示される画面で [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー] 下に「PS-HX500」が表示されているか確認する。
- Hi-Res Audio Recorderが正しくインストールされているか確認してください。（Macの場合）
  - － Finderを起動し、[アプリケーション] 下に「Hi-Res Audio Recorder」が表示されているか確認する。
- Hi-Res Audio Recorderが正しくインストールされていない場合、アンインストールして、もう一度インストールし直してください。詳しくは、「[Hi-Res Audio Recorderをインストールする](#)」をご覧ください。

## ご注意

- Hi-Res Audio Recorderを起動後、下記のメッセージが表示された場合は [OK] をクリックしてください。（Macの場合）



[許可しない] をクリックすると、録音できなくなります。

その場合は、Appleメニューの [システム環境設定] - [セキュリティとプライバシー] - [プライバシー] - [マイク] をクリックし、右側のアプリリストの「Hi-Res Audio Recorder」にチェックを入れて、マイクへのアクセスを許可してください。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## スリープ（スタンバイ状態）から復帰後、コンピューターから音声が聞こえない。または、コンピューターがステレオレコードプレーヤーを認識しない。（Windowsのみ）

- 一部のコンピューターでは、スリープからの復帰後、ステレオレコードプレーヤーを正しく認識できない場合があります。USBケーブルを抜き、コンピューターを再起動してください。再起動後、コンピューターとステレオレコードプレーヤーをUSBケーブルで接続してください。  
接続方法については、「[コンピューターとステレオレコードプレーヤーをつなぐ](#)」をご覧ください。

### ヒント

- コンピューターの設定で、自動的にスリープに移行するように設定していても、Hi-Res Audio Recorderの起動中は自動的にスリープに移行しません。  
コンピューターをスリープに移行させる場合は、Hi-Res Audio Recorderを終了してからスリープに切り換えてください。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## コンピューターに録音した曲が途切れる（音飛びする）、波形描画が遅れる。

- コンピューターのCPU負荷が大きいため、ほかのアプリケーションを終了してください。
- 同時にほかのUSB機器を使用している場合は、ほかのUSB機器の使用を停止してください。
- 一時ファイルの保存先に指定したドライブのアクセス速度が遅い可能性があります。保存先を、内蔵ハードディスクドライブなど、高速でアクセスできるドライブ内のフォルダーに変更してください。一時ファイルの保存先の変更について詳しくは、「[手順2. Hi-Res Audio Recorderを起動する](#)」をご覧ください。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 録音中、または再生中の音声に電氣的な雑音が入る。

- ステレオレコードプレーヤーの近くにACアダプターや電源コード、蛍光灯、携帯電話などがある場合は、ステレオレコードプレーヤーから遠ざけてください。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## レベル（ゲイン）を調整するとノイズが発生する。

---

- ゲインが高すぎる可能性があります。  
ゲインを下げてください。  
ゲインの設定方法について詳しくは、「[録音した曲のレベルを調整する（ゲイン調整）](#)」をご覧ください。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## ゲイン設定を「自動」にしても音声レベルが変わらない。

---

- 録音したデータ（一時ファイル）のレベルの最大値が-1dBを超えています。  
この場合は、「自動」を選択してもゲインは上がりません。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## ファイルを保存できない。

---

- 以下のファイルを保存しようとしていないか確認してください。
  - － コンピューターを使用しているほかのユーザーが使用しているファイル
  - － ほかのアプリケーションが使用しているファイル
- ファイルのサイズが、ファイルシステムの上限（FAT32の場合、最大4 GBまで）を超えている可能性があります。フォーマットを変更するか、録音時間を短くしてファイルサイズを小さくしてください。
- WAVフォーマットのファイルのサイズが4 GB（192 kHz/24 bit の場合、最大60分まで）を超えている可能性があります。フォーマットを変更するか、録音時間を短くしてファイルサイズを小さくしてください。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## ファイルを保存後、別のレコードを録音する方法がわからない。

- 新しく録音を開始したい場合は、画面上部にあるメニューで「ファイル」－「新規作成」をクリックすると、録音モード画面に切り替わります。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 録音済ファイルの再生方法がわからない。

- Hi-Res Audio Recorderは録音専用のアプリケーションです。再生機能はありません。  
録音済ファイルを再生するには、ハイレゾ再生対応機器に転送する、もしくはハイレゾ再生に対応した音楽再生アプリケーションをコンピューターにインストールしてください。  
再生には下記をおすすめします。
  - － ハイレゾ再生対応機器 : UDA-1、CAS-1、TA-ZH1ES、SA-Z1
  - － ハイレゾ再生対応アプリケーション : Sony | Music Center for PC

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション

Hi-Res Audio Recorder

## 録音済ファイルの編集方法がわからない。

- Hi-Res Audio Recorderは録音専用のアプリケーションです。録音済ファイルを編集する機能はありません。録音時に、Hi-Res Audio Recorderで編集完了することをおすすめします。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 録音済ファイルをCDに書き込む方法がわからない。

- Hi-Res Audio Recorderは録音専用のアプリケーションです。ディスク作成機能はありません。  
録音済ファイルをCDに書き込むには、CD作成に対応した音楽編集アプリケーションを使用してください。

ステレオレコードプレーヤー専用アプリケーション  
Hi-Res Audio Recorder

## 録音済ファイルでDSDディスクを作成する方法がわからない。

- Hi-Res Audio Recorderは録音専用のアプリケーションです。ディスク作成機能はありません。  
録音済ファイルでDSDディスクを作成するには、DSDディスク作成に対応した音楽編集アプリケーションを使用してください。